

令和3、4年度の議席配分【統合団体優先枠の調整】
 議員定数33名 うち統合団体優先枠4(統合団体の市町村コード順に輪番配分)

千早赤阪水道事業の料金改定(令和4年4月改定)

		統合団体	市町村コード	R2年度	R3年度	R3年度【調整後】	R4年度		
統合団体優先枠／配分4適用後	藤井寺市	R3~	226	(令和3年度統合)	○	○	○	基礎配分＋ 統合団体優先枠4	
	泉南市	○	228	○	○	○			
	四條畷市	○	229	④	○	○	○		
	大阪狭山市	R3~	231	(令和3年度統合)	○	○	○		
	阪南市	○	232	○	○	○			
	豊能町	○	321	○	①	②			
	能勢町	R6~	322	(令和6年度統合)		(令和6年度統合)			
	忠岡町	○	341		②	③	○		
	熊取町	R3~	361	(令和3年度統合)	③	④			
	田尻町	○	362	①	④		①		
	岬町	○	366	②	○	○	②		
	太子町	○	381	③			○		
	河南町	R3~	382	(令和3年度統合)	○	○	③		
	千早赤阪村	○	383	○		①	④		
統合団体に配分される議席数(基礎配分＋統合団体枠)				8	11	11	9		
うち統合団体枠				4	4	4	4		

※ ○は、基礎配分として地域ブロックにおいて配分を受けた議席。
 ①～④は、統合団体優先枠において配分を受けた議席。
 (丸数字は市町村コード順)

千早赤阪水道事業の料金改定の検討について

○経営戦略2020-2029における方針

千早赤阪水道事業では、統合案に沿って経営戦略期間中に供給単価ベースで令和4年度に27%、令和9年度に23%の料金改定を予定している。

大阪広域水道企業団 経営戦略2020-2029

施策の方向性④ さらなる経営改革に取り組み、持続可能な経営基盤を構築します

【持続】

1. 事業運営の効率化

取組方針

- ◆ 効率的な事業運営に努め、経営基盤を強化する。
- ◆ 安定給水と健全経営を維持しつつ、適正な料金水準・制度を追求する。

(3) 適正な料金水準の検討 **アクション4-3**

健全経営を維持しつつ、適正な料金水準・制度を追求する。

【水道事業】 《統合案において当計画期間中に料金改定を予定している事業》

水道事業名	料金改定時期（改定率）	
千早赤阪水道事業	令和4年度（27%）	令和9年度（23%）



千早赤阪水道事業

収益的収支 (単位:百万円)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
収入	175	175	173	178	180	181	182	174	170	167
支出	175	174	173	177	179	180	181	196	197	198
単年度損益	0	1	0	1	1	1	1	△ 22	△ 27	△ 31

資本的収支 (単位:百万円)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
収入	73	75	162	127	130	129	130	46	46	46
支出	118	126	201	156	168	167	169	119	118	119

資金残高 (単位:百万円)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
資金残高	40	40	52	76	94	111	129	92	52	9

○今後のスケジュール（案）

令和4年4月1日からの料金改定に向け、下記のスケジュールで検討を進める。

令和3年 7月	企業団議会7月議員全員協議会（経過報告）
11月	企業団議会11月定例会（条例改正）